

## スマイル塾

(前半13:00~14:50 後半15:00~16:50)

- 1中・4中 東障害者福祉センター1階  
 2中・8中 池の里市民交流センター3階  
 3中・友呂岐中 友呂岐中内  
 5中・9中 エスポアール2階  
 6中・10中 国松緑丘小内「地域人材室」  
 7中・中木田中 中木田中内「記念館」

スマイル塾  
 単位で、中学校  
 学習支援事業  
 (無料)です。  
 を対象にした  
 中学校3年生  
 からスタート  
 した事業で、  
 催で、今年度  
 は寝屋川市教  
 育委員会の主  
 催で、今年度  
 からスタート  
 した事業で、  
 市内の全ての  
 中学校3年生  
 を対象にした  
 対し、現在150人ほ  
 どですが、今後も募集  
 をしていく予定です。

## スマイル塾（無料）に150人

## 府営住宅の募集

募集期間 8月1日(月)～  
 8月15日(月)

抽選日 9月13日

「スマイル塾」  
 は寝屋川市教  
 育委員会の主  
 催で、今年度  
 からスタート  
 した事業で、  
 市内の全ての  
 中学校3年生  
 を対象にした  
 学習支援事業  
 (無料)です。  
 が無料です  
 アでは大学の授業料  
 取り入れたらどんな  
 に良いかと思います。

# 小中一貫教育の検証と今後の課題

## 教育委員会が資料公表



「意見違い認めない考え方」に違和感

## 市民からの意見

寝屋川市教育委員会より、「小中一貫教育11年間の検証と今後（平成27年度学校教育に関する有識者提言）」と「小中一貫教育の検証並びに今後について」の資料と説明が議会にあります。全文を市議団ホームページに掲載したところ、市民から「意見がありましたので紹介します。」とありましたので紹介します。

有識者提言での「（まとめてかえて）小中一貫教育推進委員

会にて」について、「・・・小中一貫校に反対する方が言われるような批判については、全く考へる必要はない。・・・と記述されているが、意見の違いを認めないような上か

他にも、「第5次総合計画と教育大綱などの最上位計画に位置づけられている」というのが出発点の様に感じる。保護者や市民の意見を聞いてすすめることが大事だと思う」とのご意見や「義務教育とは何か?」という

問題が見えて来ないとや「全国学力テストの点数が全国平均を上回っていることや、英語検定の受検率が上がっていること、不登校の子どもが減少したことなど、何でもが、小中一貫教育の成果として

## 「現場の教職員の意見聞きたい」

報告されているようですが本当にそうなのでしょうか?。苦労されている現場の先生方から「ご意見はどうなんでしょうか?」などの声も寄せられました。引き続き、「意見をお寄せ下さい。

## 視界

マイケル・ムーア監督の新作 映画「世界侵略のススメ」が

全国で上映されています。ムーア監督が世界を訪問して良いところをアメリカに採り入れようという

内容です▼イタリアでは、年間の有給休暇が8週間（約2か月）。フランスの小学校の給食は陶器の皿で前菜から4品お皿で前菜から4品のフルコース。ドイツでは就業時間を過ぎた後や休日に、上司が部下の労働者に電話やメールするなどの仕事の連絡をするのは法律違反でした▼学力が世界1のフィンランドで世界1の理由を探るなど、その秘密は宿題を廃止したことでした。日本では、授業やテストを増やすて、子どもを勉強漬けにすれば学力が上がると思われていますが逆のようです▼世界最初の女性大統領を選出したアイスランドでは、社会すべてで女性の社会進出が著しいことがわかります。公務員や民間企業の幹部、役員の40%以上は女性でなくてはならないといふ法律をつくっています。スロベニアでは大学の授業料が無料です▼日本に取り入れたらどんなに良いかと思います。

西田まさみ 石津中町30-3 090-9713-3588 前川なお 萱島東2-16-11 090-1025-7503

意見の届け先 市役所環境総務課  
★ファクス 821-3349  
★メール  
k-somu@city.neyagawa.osaka.jp

# ごみ処理などの見直しについて 市民の意見を募集 8/20まで

●生ごみの  
7割水分  
市は、「ごみ減量施策」として例えば、家庭ごみの40%をしめる生ごみの7割が水分であることから「水切り大作戦」を奨励。  
●雑紙は  
リサイクル  
汚れたもの以外の見ずに溶ける紙を雑紙として回収し、材料リサイクルへ。



本市の1日のごみの量は約191t(25m<sup>3</sup>ペール4つ分)で、ごみ処理にかかるお金は26年度で25億6000万円です。

●資源集団  
回収活動  
市民のグループが回収した新聞などに、1kg6円の奨励金を出します。などの取り組みを進めています。また市は「ごみ減量マイスター(ごみ減量推進者)認定講座」などを開催しています。市担当課は、各自治会にも、これらの講座の開催、参加をお願いしていくとしています。

毎日暑い日が続きます。今年の夏はプランターに、ミニトマト、モロヘイヤ、ピーマン、ゴーなど植えました。モロヘイヤは一昨年、広島の実家で弟からまいて小型のプランター3つに植えてくれたもので、種が体に良いと薦進めました。

私は田舎育ちのせいか、野菜や花が近くにないと、それもないと、大げさなようですが、生きいくことができない気さえします。寝屋川の緑が減少し続けています。国も振興計画を作らうとしています。身近に緑がある寝屋川であってほしいと思います。

## 出前講座の開催を

### ●資源集団 回収活動



**中林  
かづえ**

建設中の新焼却炉の一日の処理量は、1日200tで、現行の炉の焼却量一日360tより小規模になっています。

これは、新炉計画時の課題です。

## ごみ減量が未達成

に、焼却量が減少することを見込んだことと、廃プラをサーマルリサイクルする計画にはなっていませんでした。

平成27年度のごみ減量計画(10年計画)における減量目標は、人口が予定より減少していないこともあります。未達成になっています。

寝屋川市は、平成30年度稼働の新ごみ処理施設において、ごみ発電のための廃プラのサーマルリサイクルも含めて検討するなど、ごみの減量化推進と、ごみ収集・運搬・処分の見直し作業に取り組んでいます。

寝屋川市は、平成30年度稼働の新ごみ処理施設において、ごみ発電のための廃プラのサーマルリサイクルも含めて検討するなど、ごみの減量化推進と、ごみ収集・運搬・処分の見直し作業に取り組んでいます。

# 廃プラのサーマルリサイクルへの見直しはごみ減量が課題

寝屋川市は、平成30年度稼働の新ごみ処理施設において、ごみ発電のための廃プラのサーマルリサイクルも含めて検討するなど、ごみの減量化推進と、ごみ収集・運搬・処分の見直し作業に取り組んでいます。

寝屋川市は、平成30年度稼働の新ごみ処理施設において、ごみ発電のための廃プラのサーマルリサイクルも含めて検討するなど、ごみの減量化推進と、ごみ収集・運搬・処分の見直し作業に取り組んでいます。

寝屋川市は、平成30年度稼働の新ごみ処理施設において、ごみ発電のための廃プラのサーマルリサイクルも含めて検討するなど、ごみの減量化推進と、ごみ収集・運搬・処分の見直し作業に取り組んでいます。

## 法律相談

日時 8月18日(木)  
18時30分~  
場所 市民会館  
(2F第3・4会議室)

